

Q

ヤングケアラーの実態把握についての状況は



あき 昭 湯 本 哲



映像は こちらから

アンケート調査の目的は、ヤングケアラーの実態把握に加え、学校においてヤングケアラーと思われる子どもを早期に見出し、本人とその家庭を支援する仕組み作りの検討を行うことである。

身がヤングケアラーに当てはまると自覚している生徒がいたことである。今後の学校としての対応は。まず、調査結果をもとに、実態を全教職員で共通理解をし、担任は気になった生徒に個別の聞き取り調査を実施した。しかし未回答の生徒の他に、前述した重要な4項目に該当する生徒が293名おり、この生徒の実態を継続調査し、更に関係機関との情報共有を図り、生徒ひとりひとりに寄り添って孤立させない支援を行っていく。



埼玉県HPより

アンケート調査の内容は。生徒のタブレットを用いて質問項目に答える形式で行った。全生徒の94・3パーセント、3,532名の回答があった。主な質問項目は、「家庭でお世話している人がいるか」「お世話している事に負担はあるか」「自分自身がヤングケアラーにあてはまると思うか」など19問である。本調査で把握できた重要な4点は、①家族の世話をする事で身体的・精神的な負担がある②宿題や勉強をする時間が取れない、友達と遊ぶ事ができない③自分の今の状況について話を聞いて欲しい、家族の病気や障害・ケアについて知りたい④自分自

Q

学童のミニCO環境を市が主導的に整備すべきでは



のり 徳 田 義 角



映像は こちらから

今年度、小中学校の修学旅行等の行事についてはどうするのか。中止の場合には代替案は考えているか。修学旅行については、中学校は全10校が中止を決定した。小学校は11月中旬から2月にかけて実施が予定されており、既に中止を決定している学校もあるが、今後の状況を見ながら適切に判断する。その他の集団宿泊行事としては林間学校やスキー教室があるが、今年度についてはほとんどの学校で宿泊を伴わない形で実施を考えており、日帰りで自然体験学習などを計画している。また、こうした行事の中止の場合の代替案としては、子供たちの意見も聞きながら、何ができないではなく、何ができるかという観点で、現在、各学校において検討している。

れている。この穴埋めをどのように行うのか。また、予算が不足している業者が依頼できない学校もあるよ。うだが補正予算を組む考えはあるか。環境整備が中止になったことにより、草が伸びてしまっている学校もあるが、学校によっては教員と児童生徒で協力して清掃の時間に取り組んだり、放課後に教職員が少ずつ取り組むなど、各学校が工夫しているところである。今後、各学校の予算に不足が生じた場合については、その状況を確認し、学校と相談しながら対応していく。



10月9日に行われた榛沢小学校 PTA 環境整備の様子

Q

今後のワクチン接種も、予定通り終了するのか



お 男 三 木 鈴 ず



映像は こちらから

今後もワクチンが予定通り供給され、接種は予定通り終了するのか。予定していたワクチンの供給が減少したので、64歳以下の接種に遅れが生じる可能性がある。

保税減免の対象にできるではないか。市では新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減免は、国の財政支援の基準に基づき対応している。令和3年度も国の基準で対応する。

市補助で子どもの均等割を無料にする

国は、来年度から未就学児の国税の均等割を半額にすることをしているが、深谷市でさらに半額を補助し子どもの均等割を無料にすべきでは。国保は、高齢者や低所得者の加入が多く、一般会計から繰入れていくことから、慎重に判断する。

市で未就学児の半額を補助すると必要な金額は、どれくらいか。約700万円が、必要である。

Q

市営住宅の退去通知との誤解を与えたのではないか



な な 問 奈 々 佐 久



映像は こちらから

公共施設適正配置計画で用途廃止方針となった市営住宅の入居者に対し、市は「建物明け渡しのお願」という通知を配付した。その内容が、期日までに明け渡さなければならぬとの誤解を与えるものであると感じるが、市の見解を伺う。入居者に対しては、毎年訪問し住み替えの協力を繰り返しお願している。しかし、事業の進捗は鈍化しているため、今回退去期日の入った書面を配付したところである。職員が訪問し、説明を行ったが、入居者に誤解やストレスをお掛けした可能性はある。今後より丁寧に説明を行っていく。住み替えをされた入居者に対しては、生活状況の確認を行うなど、対応していく。

対象41世帯中37世帯から回答をいただき、退去を望まない世帯は34世帯と、全体の8割を超えている。退去を望まない主な理由は。①住み慣れているので引っ越したくない②高齢なので最後までここで暮らしたい③引っ越した後の家賃が高くなる等である。引き続き住み続けたいという入居者の意向は尊重されるのか。また、建物の老朽化が進んでいるが修繕は行うのか。入居者の意向を尊重する。また必要な修繕は行う。

A

ワクチンの供給不足から64歳以下の接種は遅れるかも

A

誤解やストレスをかけてしまった可能性がある

市長の判断で、

コロナ減免適用を

主たる生計維持者の収入減少世帯でも市長の判断により、コロナ国

自宅療養者が、急増していたが食料品や日用品を届けることやパルスオキシメーターの貸し出しなどの深谷市独自の支援が必要ではないか。市では昨年度より保健所に保健師を派遣するなど支援をしている。今年度は、県との連携を密にし、自宅療養者への支援を行ない、きめ細かな対応を考えている。

令和2年度の国保税
コロナ減免の申請一覧

国保減免	R3/3 末
内容	件数
申請数	238
承認数	198
却下数	40
保留数	0

却下数 40 件の内訳

主な理由	件数
3割減以下のため	24
前年所得0円以下	8
世帯主以外のため	5
その他	3

入居者に対して過去に意向アンケートを行ったが、退去を望まないとの意向はどの程度あったか。令和2年度のアンケートでは、

